

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年7月26日 (2012.7.26)

【公表番号】特表2011-527317(P2011-527317A)

【公表日】平成23年10月27日 (2011.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-043

【出願番号】特願2011-517170(P2011-517170)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/428 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 31/428

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 21/02

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

C 0 7 K 16/18 Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月11日 (2012.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筋萎縮性側索硬化症の治療または予防のための医薬の製造における N o g o - A アンタゴニストの使用であって、該 N o g o - A アンタゴニストは筋萎縮性側索硬化症の治療または予防のための抗グルタミン酸活性を有する化合物とともに投与される、前記使用。

【請求項 2】

前記抗グルタミン酸活性を有する少なくとも 1 種の化合物がリルゾールである、請求項

1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記 N o g o - A アンタゴニストが抗 N o g o - A 抗体である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記 N o g o - A アンタゴニストがヒト化抗体またはヒト抗体である、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

前記 N o g o - A 抗体が H 2 8 L 1 6 (配列番号 2 および配列番号 4)、H 2 8 L 1 3 (配列番号 2 および配列番号 3) および H 2 7 L 1 6 (配列番号 1 および配列番号 4) のうちの 1 種である、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

前記 N o g o - A 抗体が H 2 8 L 1 6 (配列番号 2 および配列番号 4) である、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 7】

前記 N o g o - A アンタゴニストおよびリルゾールが患者に共投与される、請求項 2 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 8】

1 日約 5 0 m g ~ 約 1 5 0 m g のリルゾールが前記患者に投与される、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

1 日 1 0 0 m g のリルゾールが前記患者に投与される、請求項 7 または 8 に記載の使用。

【請求項 1 0】

リルゾールが経口投与される、請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 1】

約 2 m g / k g ~ 4 0 m g / k g の N o g o - A アンタゴニストが患者に投与される、請求項 1 ~ 1 0 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 2】

前記 N o g o - A アンタゴニストが患者に静脈内投与される、請求項 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 3】

前記 N o g o - A アンタゴニストが 1 週間に 1 回、患者に投与される、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 4】

前記 N o g o - A アンタゴニストが 2 週間に 1 回、患者に投与される、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 5】

前記 N o g o - A アンタゴニストが 4 週間に 1 回、患者に投与される、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 6】

患者が、A L S (筋萎縮性側索硬化症) の治療または予防でのリルゾールの使用に応答しなかったか、または不十分な応答を示したことがある、請求項 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の使用。